

# キッズ・ルピナス 市ヶ尾事業所 自己評価アンケート分析報告書

## 1. はじめに

本報告書は、「キッズ・ルピナス 市ヶ尾」において実施された保護者向け自己評価アンケートの結果を分析し、今後の運営改善や支援の質向上に役立てることを目的としています。対象は、児童発達支援（未就学児）および放課後等デイサービス（小学生）です。

## 2. 全体の傾向

児童発達支援は5名の回答で、支援の質や職員対応に関する満足度は高かった一方で、支援内容の説明、地域交流、家族支援の実施状況において「どちらともいえない」「いいえ」が複数見られました。放課後等デイサービスは2名の回答で、評価は二極化しており、改善が求められる項目が多く見られました。

## 3. 児童発達支援（3～5 歳）

### 3.1 評価の高かった点

- 活動スペースや職員対応、支援の満足度、安全面では多くが「はい」と回答され、高評価。

### 3.2 改善が見られる点と対策案

項目	評価傾向	改善案
支援計画の説明	2 件が『どちらともいえない』、1 件『いいえ』	面談や資料での説明内容の標準化と共有
地域交流の有無	3 件が『どちらともいえない・いいえ』	交流活動の開催と報告を HUG や HP で可視化
家族支援・研修	2 件が『どちらともいえない』、1 件『いいえ』	開催回数の明記と参加募集を強化
情報伝達・相談体制	複数が『どちらともいえない』	連絡帳や掲示物で相談先・支援制度の周知
事故時の連絡	2 件が『どちらともいえない』	事故対応マニュアルの保護者共有と見える化

## 4. 放課後等デイサービス（小 1～小 6）

### 4.1 評価の高かった点

- 清潔な環境、支援の楽しさ、職員の共感的な対応は高く評価された。

### 4.2 改善が見られる点と対策案

項目	評価傾向	改善案
活動スペース・配置	1 件が『どちらともいえない』	写真や導線図などで施設内紹介を行う

支援計画の明確さ	1 件が『どちらともいえない』	支援内容の構造化と紙面提示を徹底
面談や助言の頻度	1 件が『どちらともいえない』	面談の定期案内や振り返りメモを活用
相談・伝達体制	1 件が『どちらともいえない』	相談窓口や担当者の掲示で安心感を創出
事故対応の透明性	1 件が『どちらともいえない』	事故報告プロトコルを周知し、対応速度を明文化

## 5. 来年度への共通提案

- 支援内容の説明機会を増やし、丁寧な面談・通信で信頼を構築
- 地域交流や家族支援の報告と参加促進により、家庭と施設の連携を強化
- 情報発信の頻度を高め、支援の見える化と相談体制の明示で安心を提供
- 全施設で事故対応フローや緊急連絡体制の統一・共有を進める